

＜龍馬関連の浮世絵展と講座のご案内＞

2010年2月吉日 国際浮世絵学会会員 中城正堯

このたび、日本を代表する浮世絵専門美術館として知られる太田記念美術館主催による「龍馬の見た江戸—幕末の風景—」展が、下記の通り開催されます。企画趣旨は、坂本龍馬が活躍していた幕末の江戸の風景をさまざまな角度から浮かび上がらせるものです。

同美術館からの要請で、藤原信一「龍馬役者絵」を東京で初公開し、公文菊僊「坂本龍馬」(肉筆掛軸)、およびペリー来航関連瓦版も出品いたします。また、会期中に同館の土曜講座で、「坂本龍馬と浮世絵」を担当いたします。

講座では、①激動の中で龍馬が楽しんだ浮世絵、②維新後に自由民権運動や海軍の象徴として描かれた龍馬、③中城家に伝わる龍馬・お龍夫妻、を紹介いたします。ご興味がありましたら、ぜひおいでください。

記

＜展示会＞

「龍馬の見た江戸—幕末の風景—」

展示期間 平成22年3月2日(火)～3月26日(金) 10:30～17:00

会場 太田記念美術館 TEL03-3403-0880

(渋谷区神宮前1-10-10 地下鉄「明治神宮前」・JR「原宿」下車)

観覧料 大人700円、大高生500円、中小生200円(土・日・祝日は中小生無料)

＜土曜講座＞

「坂本龍馬と浮世絵」

開講日 平成22年3月20日(土)

14:00～15:30

会場 太田記念美術館 地下視聴覚室

受講方法 事前申込も受講料も不要、ただし
展示会場への入場料が必要

＜お知らせ＞

「浮世絵に見る江戸の母と子」(5月)

武蔵野大学生涯学習講座としてJR三鷹駅前のサテライト教室で5月9日・16日・23日と日曜日に3回連続で開講。内容は①歌麿の母性愛浮世絵と印象派②広重に見る江戸の遊びと学び③浮世絵を楽しんだ子どもたち、です。詳しくは同大学社会連携センターTEL042-468-3222。



「龍馬役者絵」藤原信一・絵